



# 三五の森づくり 植樹レポート



Vol.03

2020年1月号

『いのちの森づくり2020』2019年度が完了しました

2015年に東京オリンピック、パラリンピックの開催が決まりました。三五が植樹のご指導を仰いでいる宮脇先生はこの時、『ぜひ日本人の植樹文化を世界に伝えましょう』と意気込んでおられました。その思いは療養中の今でも強く持たれ、先生の思いを形にして残していこうと集まったメンバーが「いのちの森づくり2020」世話人会。三五はこの会の事務局を任命されており、先生のご希望を形にするため全国の企業に森づくりを呼びかけ、会を取りまとめています。

三五は全18拠点で「いのちの森づくり2020」の植樹祭を開催することとし、2019年4月の豊田技術センターをキックオフとして現在各工場・拠点を森づくりを実施しています。今年度も国内外でたくさんの従業員の方が植樹活動に協力してくれました。



横浜国立大学名誉教授  
宮脇昭先生

八和田山



GSC



STI



三五北海道



XSC



とよはし



2019年の植樹本数 21,214本



# 三五の森づくり

ECO35

## 森のメンテナンス 間伐作業



ECO35の森は13年が経ち、都会の中の貴重な森林空間となりました。しかし、森の中を見てもみると幹は細く、暗いせいか下草もほぼ無い状態。葉は上方に集中し、森の階層構造に乏しく、生物多様性の観点からは良好とはいえません。そこで木を太らせ、光を森に取り込むため、新入社員の皆さんで間伐作業を実施しました。切った木は枝葉を取り除き、土留めに使用しています。これは落ち葉留めにもなり一石二鳥。枝葉はウッドチップにしてビオトープ周囲の園路に敷き詰めてもらい、これまた一石三鳥です。さらに良い森になりますように！



▲切った木を搬出



▲枝葉を切ります



▲土留め、落ち葉留めに活用



▲ウッドチップとして利用



▲明るくなった森

燃やさない、外にださない、使い切る。ECOだケロロ。



### 植樹の本数



### 今回の事務局紹介

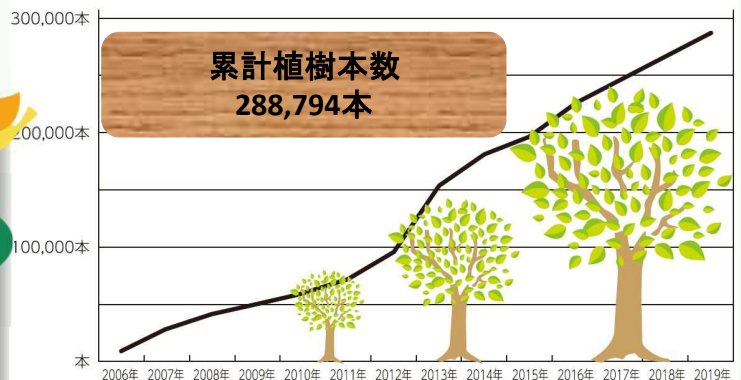
八和田山工場 鳥山吉満さん

製造工場と自然の共生目指して頑張ります！



カキツバタを植える鳥山さん

とにかく準備に余念がない鳥山さん。まじめだけれど、冗談好き、みんなに愛される部長さんです。八和田山工場の自然共生には欠かせない重要人物です。八和田山にはビオトープもできて、大忙しの鳥山さんです。



森は三五の製品であるマフラーと同じ浄化や消音の役割をはたしています。三五は社員みずから苗木を植え、未来のために美しい緑、美しい地球を残していきます。めざせ、35万本！